

令和6年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立関辺小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%					○
算数	63.4%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%					○
情報の扱い方に関する事項	86.9%					○
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%					○
書くこと	68.4%					○
読むこと	70.7%					○

【考察】

- 全ての領域で全国平均を上回りました。特に、漢字を文中で正しく書き直す問題では、全国平均を大きく上回っており、漢字コンクールなどの取組の成果として表れたと考えられます。
- 話すこと・聞くことの領域が、比較的正答率が低くなりました。特に、自分の考えが伝わるように表現を工夫する問題の正答率が低かったため、授業の中で、相手に伝わる表現を意識して、文章を書いたり説明したりする機会を増やしていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%					○
図形	66.3%					○
変化と関係	51.7%					○
データの活用	61.8%					○

【考察】

- 全ての領域で全国平均を上回りました。中でも、わる数が1/10になったときの商の大きさについて正しいものを選択する問題と、わる数が小数の場合のわり算の計算問題が全国の平均正答率を大きく上回りました。日頃の授業における問題解決場面でしっかり話し合い理解を深めてきたことや、計算コンクールなどの取り組みで速く、正確に計算する力が向上したと考えられます。
- 問題場面の数量関係を捉え式に表す問題と、速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する問題で全国平均を下回りました。どちらも問題文から数量関係を正しく捉えるというところに課題が見られました。文章だけでなく図や数直線に表すなどして、数量関係を正しく捉えられるよう繰り返し取り組ませています。